

第69回 福島県身体障がい者福祉大会受賞者名簿

(敬称略)

◆自立更生者表彰 (10名)

桑折町	紺野ミサ	棚倉町	西牧巳佐夫
川俣町	畑智子	喜多方市	湯浅佳子
二本松市	杉内幸子	南相馬市	赤坂豊
本宮市	高沢政一	飯舘村	松林正一
浅川町	川音ヒサ	相馬市	佐藤由美子

◆更生援護功労者表彰 (9名)

桑折町	岡崎善右エ門	磐梯町	佐藤孝子
二本松市	菅野実	喜多方市	瓜生重信
本宮市	菅野ミツ子	南相馬市	林ヤエ子
玉川村	小針康信	新地町	八巻泰一
棚倉町	塩田浩司		

◆加盟団体運営協力者感謝（8名）

桑折町	澁谷向子	平田村	本崎英男
二本松市	日下部耕藏	矢祭町	小室夕工子
本宮市	安斎透	喜多方市	武藤正司
田村市	坪井雅典	飯舘村	石井せん

◆会長特別感謝（1名）

福島市 紺野佳昭

大会スローガン

- ◎ ユニバーサルデザイン2020行動計画の完全実施を求めよう
- ◎ 障害者差別解消法及び県条例の理解をさらに深め一層の啓発を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう

大会宣言

野馬追と民謡の里として古い歴史と伝統を持つ、ここ相馬市において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第69回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体及び相馬市をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

今、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、障がい及び障がいのある者に対する理解が高まってきているところであり、障がい理解の一層の促進に向け、心を一つにして活動していかなければならない。

今後とも、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」が目指す共生社会の実現の大きな2つの柱である「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」への理解を深め、多くの当事者団体と協力・連携しながらその役割を果たしていくことが重要である。

また、平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、平成31年4月からは福島県において「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」が施行された。今後、県民理解のもと、一層差別解消に向けた取り組みが実施されるとともに、県内各市町村の実情に即した「障がい者差別禁止条例」の制定が進められていくことを求める。

さらに、東日本大震災により長期避難生活を送られている県内外の障がい者への支援活動を引き続き展開していくとともに、災害時における被災障がい者支援の充実を求める。

このような状況にあっても、県内の障がい者一人ひとりが自立への誇りと社会参加への意欲を強く持ち、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、ともに生き・ともに助けあう明るい社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

令和3年10月22日

第69回福島県身体障がい者福祉大会

大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災障がい者の支援に万全を期するため、第69回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

要望事項

- 1 障がいの社会モデルの理解啓発を強く推進することを要望する。
- 2 地域に根ざした心のバリアフリーの推進を図ることを要望する。
- 3 障がい者差別をなくすための条例を県内各市町村で制定することを要望する。
- 4 地域の相談支援体制に身体障がい者相談員を活用させることを要望する。
- 5 被災加盟団体の再建への支援並びに災害時における被災障がい者支援の充実を図ることを要望する。

努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

令和3年10月22日

第69回福島県身体障がい者福祉大会